

取扱説明書・組立説明書

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。



警告

- ◎ 廃棄するときは専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。



注意

- ◎ テーブルに腰を掛けたり、乗ったりしないでください。倒れてけがをすることがあります。
- ◎ テーブルの上にトータルで最大積載質量45kg(等分布)以上となるものを載せないでください。変形、破損及び落下してケガをすることがあります。
- ◎ 設置場所は段差や大きな凸凹がない所を選び、アジャスターが4ヶ所同時に接地することを確認してからご使用してください。
- ◎ 移動するときは、引きずったり、押しついたりしないでください。変形、破損の原因になります。
- ◎ ボルトやネジがゆるんだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- ◎ 乱暴な取扱い、改造、分解は絶対にしないでください。破損やけがをすることがあります。
- ◎ 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- ◎ 用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。
- ◎ 直射日光や、ストーブなどの高熱を避けてください。変形、変色及び火災の原因になります。
- ◎ 高熱のものを直接テーブルの上に置かないでください。変形、変色、破損の原因になります。
- ◎ この製品は室内用です。野外、水のかかる所では使用しないでください。また、湿気、乾燥の著しいところも避けてください。天板がたわんだり、変形することがあります。

健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

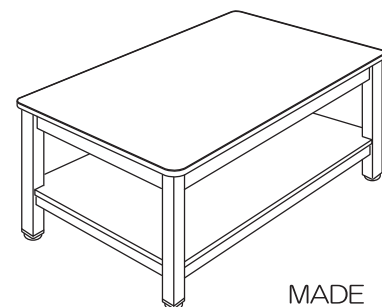
1. 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行うように心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

品質表示

品番	幅(mm)	奥行(mm)	高さ(mm)	質量(kg)	構成部材
CT-1050 (BR:ブラウン) (WH:ホワイト)	1000	500	450	20.1	天板部・棚部: 18mm厚 両面: 低圧メラミン化粧板・芯材MDF、ABSエッジ 桁: 20×40スチールパイプ 粉体塗装(シルバー色) 脚部: 30×30スチールパイプ 粉体塗装(シルバー色)

お手入れ方法

通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合は薄めた中性洗剤をよく絞った布で汚れを拭き取り、洗剤が残らないように水に浸し固く絞った布で汚れを拭き取り、その後柔らかい布で乾拭きしてください。
※シンナー・アルコール・磨き粉類は使用しないでください。



MADE IN VIETNAM

保証期間

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、通常の使用状態における本製品の保証期間は、下記の通りとなっております。

ご購入日より	対象部分	
1年間	表面部	塗装及び部品の変・退色、天板の著しい劣化
3年間	構造部	脚部の構造部品の破損

藤沢工業株式会社

本社: 岐阜市日野南7-1-7
TEL: 058(247)3311
東京: 東京都中央区八丁堀2-8-2 八丁堀共同ビル3F
TEL: 03(3552)8824
大阪: 大阪市中央区安堂寺町2-2-11 NTビル7F
TEL: 06(6761)5511
九州: 福岡市博多区山王1-16-26 筑紫センタービル 205
TEL: 092(433)5599

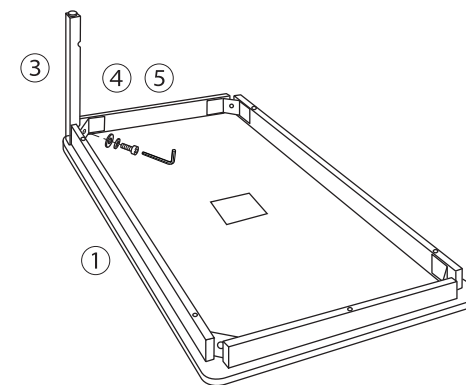
部材・部品一覧 (組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。)

①天板 1枚	②棚板 1枚	③脚 4本	④脚用ボルト M8×35 スプリングワッシャー・ワッシャー付き 8セット
			⑤6角レンチ 1本

組立方法 (CT-1050の組立は、2人以上で行ってください。)

手順①

①天板を逆さに置き、③脚の内側の穴と①天板の穴が合うように置き、④脚用ボルトにスプリングワッシャー・ワッシャーを通し、③脚に⑤6角レンチで仮締めします。

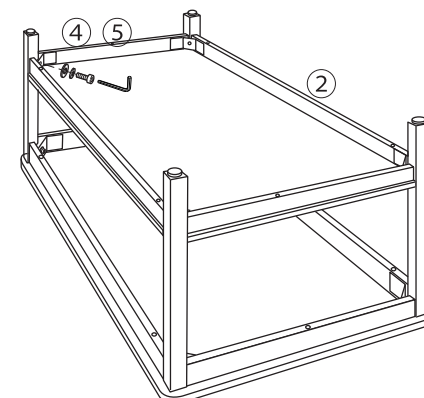


組立の際は天板に傷がつかないように布などの緩衝材で保護をした場所で組立てください。

手順③

②棚板を支えながら③脚の内側の穴と②棚板の穴を合わせ、④脚用ボルトにスプリングワッシャー・ワッシャーを通し、⑤6角レンチで確実に締めてください。

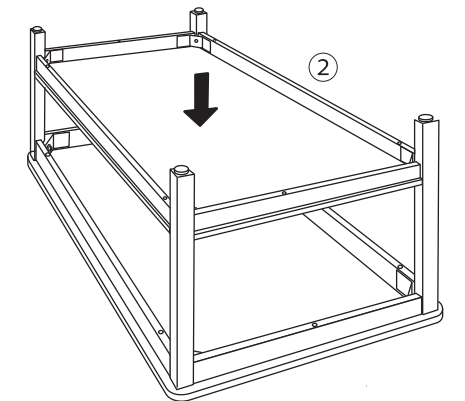
手順①で仮締めした④脚用ボルトを本締めしてください。
(ボルトはスプリングワッシャーが潰れるまで確実に締め付けてください)



棚板を一人がしっかりと持ち上げ、対角の脚に仮締めすると、作業が楽になります。

手順②

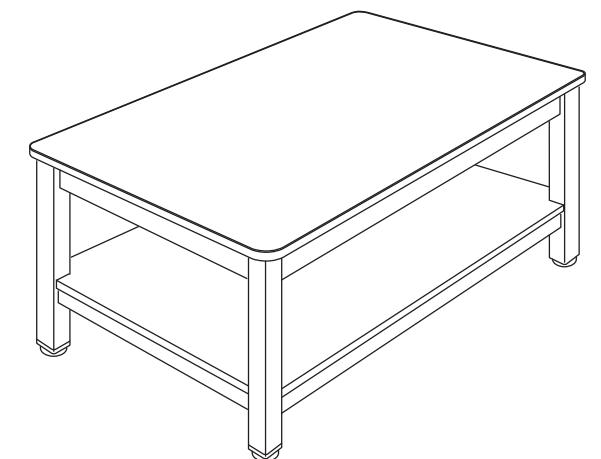
②棚板を逆さにし、脚を広げながら上から入れます。



手順①でボルトを本締めすると、棚板が入らない恐れがあります。

手順④

テーブルを起こして完成です。



※ガタツキがある場合は、アジャスターで調整してください。

ガタツキが大きい場合は、この状態で④ボルトを全て緩め、ガタツキが解消された状態で④ボルトを再度確実に締め直してください。